

令和4年度授業改善推進プラン【2年生】

教科	現状の課題	具体的な改善のための方策
国語	<p>△既習の漢字だけでなく、1年生の時に学習したカタカナも、正しく書くことができない児童がいる。</p> <p>△文章の中の大事なことは何なのか、理解できない児童がいる。そのため、何を聞かれているか、何を答えたらいいか、戸惑うことがある。</p> <p>△読書量に個人差があるせいか、語彙量に差がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続きデジタル教科書を活用し、繰り返し書いたり読んだりすることで、定着を図る。</li> <li>・大切な言葉に線を引いたり丸で囲んだりして、何を聞かれているか、何を答えたらいいか、一人でも分かるようにする。</li> <li>・学級文庫の入れ替えをしたり学習に関する図書の紹介をしたりして、いろいろな本に触れられるようにし、語彙量が増えるようにする。</li> </ul>
算数	<p>△「時刻と時間」「長さ」では、「時刻と時間」の区別がつかない、正確に長さを測ったり、計算したりすることが難しい。</p> <p>△「大きな数の繰り下がりのある筆算」では、空位があったり、繰り下がりのない問題が混じったりしていると、繰り下がりに気を付けて計算できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図的に「時刻と時間」について、時計を見せながら問いかけたり、他教科でも作図をさせたり、長さを図らせたりする機会を多くもつ。日常生活や他教科の場で活用できることに気付かせ、自ら表現したいという意欲を引き出す。</li> <li>・話型を示しながら筆算のアルゴリズムを発表させたり、筆算の考え方を図や位取り表と対応させて説明させたりすることで、既習事項を活用すれば解き方は同じであることに気付かせる。</li> <li>・繰り下がりがないもの、繰り下がりが1回、2回の問題が混じっている計算練習をさせることで、それぞれの計算の仕方の違いや共通点に気付かせる。</li> </ul>
生活科	<p>△野菜の世話に、初めは意欲的に取り組んだが、中には徐々に関心が薄れた児童がいた。</p> <p>△野菜が生長したことによる変化やそれに関わる自分の気持ちを文章にすることが難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の成長の過程にも関心がもてるよう、ICT機器を活用するなどして植物の生長を振り返る。</li> <li>・野菜の様子を具体的に児童に伝えたり、見通しをもって振り返ったりしながら、生長を楽しむことができるように声かけをしていく。</li> <li>・変化や気持ちなどを書くことができているワークシートを紹介し、着眼点のよさを学級で共有する。</li> </ul>
音楽	<p>△コロナの影響で昨年は学習内容が制限され、歌唱、鍵盤のスキルについて習得する時間が少なかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵盤の技能向上させるために、鍵盤の音を出さずに指使いを繰り返し練習する。</li> <li>・歌唱の技能を向上させるために、手話を使って歌詞を表現し、曲のイメージを心がけさせる。</li> </ul>
図工	<p>△はさみやカッターなど刃物を安全に使う技能が不足している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具の使い方の動画を作成し、ビックパットで解説して児童がわかりやすくすることで、意欲向上を図る。</li> <li>・個別指導で不慣れな児童の技術の向上を図る。</li> </ul>
体育	<p>△全ての領域をまんべんなくできる児童が少なく、領域ごとにできることに差がある。</p> <p>△体育が好きな児童が多く意欲的に取り組むが、領域によっては諦めて練習を行うことが難しい児童もいる。</p> <p>△進んで自分たちの活動の仕方やルールを工夫することが難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を行う前に、動画を活用して、できるポイントを確認させる。</li> <li>・運動の系統性をとらえ、児童の実態に応じた段階的な指導を工夫する。</li> <li>・児童の実態に合わせた場や課題を組み合わせ、選択したり補助したりしやすい環境を整えるようにする。</li> <li>・簡単なきまりや活動を工夫して、各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け体力を養う。</li> <li>・出来栄のみに拘らず、運動の場や用具などを変えながら、課題に取り組むことを大切に促す。</li> <li>・活動していく中で課題の解決が図れるように、話し合いの場を多く設定する。</li> </ul>